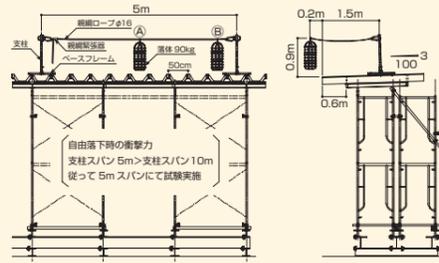


強度試験

1) 支柱スパン5mに親綱φ16を緊張器を使用して緊張し、軒先側の中央(A)及び端部(B)から自由落下

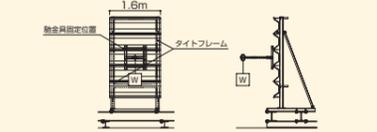


落体落下位置	折板厚	落下後支柱高さ (落下前との比較)	落下後の特記事項
A 軒先側中央	0.8mm	左 84mm (90%) 右 83mm (88%)	支柱曲り無し。支柱ソケット部に多少の変形あり 安全帯ランヤードに有害と思われる傷無し
	0.6mm	左 78mm (83%) 右 79mm (84%)	支柱曲り無し。支柱ソケット部に多少の変形あり 安全帯ランヤードに有害と思われる傷無し
B 軒先側端部 (参考)	0.8mm	左 85mm (90%) 右 76mm (81%)	支柱曲り無し。支柱ソケット部にねじれ変形 安全帯ランヤードに有害と思われる傷無し
	0.6mm	左 90mm (96%) 右 80mm (85%)	支柱曲り無し。支柱ソケット部にねじれ変形 安全帯ランヤードに有害と思われる傷無し

3) 墜落防護工安全基準(第2種)に基づく上さんの静荷重試験



4) 墜落防護工安全基準(第2種)に基づく支柱の静荷重試験



種類	折板厚	静荷重 W(kg)	たわみ量(mm)	判定
第2種	0.8mm	50	95	100mm以内 OK
	0.6mm	115	108	破壊せず OK
第2種	0.8mm	50	40	100mm以内 OK
	0.6mm	115	110	破壊せず OK



屋根工事の安全作業を確保

折板屋根用 親綱支柱



【使用上のご注意】

I. 親綱支柱の使用基準 (安全帯取付設備として)

- 親綱支柱は、1スパン1人のみ安全帯を取付けて使用出来ます。
- 安全帯のランヤードは、織ロープ式とし、安全性の確認されたものを用いて、長さを1.7m以内のものをご使用下さい。
- 親綱(ポリエステル製)の外径は16mm以上のものをご使用下さい。(仮設工業会認定品)
- 親綱に緊張を与えるために親綱緊張器をご使用下さい。(仮設工業会認定品)
- 支柱の上部フックに直接安全帯のフックを取付けることは出来ません。親綱ロープに取付けて下さい。
- 親綱支柱として使用の場合、安全ネットの取付けは禁止します。

II. 防護工(第2種)用支柱の使用基準

- 手すり支柱の間隔(スパン)は2m以内とします。
- 手すり(上さん)及び中さんは単管パイプ(φ48.6)を使用して兼用クランプにて固定して下さい。
- 安全帯取付設備では有りません。
- 防護工として使用の場合(支柱間隔2m以内)は安全ネットを取付ける事が出来ませんが、風速35m/s以上と予想される時は、安全ネットを取外して下さい。

● 金属屋根の条件

- キズ、へこみ及び赤さびによる腐食等、強度の劣化が見込まれる屋根材には、設置する事は出来ません。
- 馳(ハゼ)締め加工が終了していない屋根材には使用出来ません。
- 傾斜が10%より大きい屋根での使用は出来ません。

● 禁止事項

- 転落等で一度衝撃を受けた支柱部材の再使用は出来ませんので廃棄して下さい。

● 使用前点検事項

- 馳(ハゼ)締め加工は完成しているか。
- 支柱のスパン及び端部からの距離は、使用基準の(表1)を満たしているか。
- 馳(ハゼ)金具のボルトナットにゆるみはないか。
- 親綱ロープは緊張されているか。
- 緊張器は緊張した後、ゆるまない機能を備えているか。

● 取扱い上の注意事項

- ハゼ金具のボルトナットは、ゆるみの無いよう固定して下さい。ナットをねじ込み際は、手で仮締め後、ボルトを垂直に立てレンチ等でゆっくりと締めこんで下さい。また、使用後は、同様に支柱ベースに固定して下さい。
- ハゼ金具の六角ナットのサイズはM10ですので、レンチのソケットは17をご使用下さい。

■ レンタル・販売



日本セイフティー株式会社

<http://www.nihonsafety.com>

本社	〒102-0082 東京都千代田区一番町21番地 一番町東急ビル11F
東日本第1営業部	TEL.03-6369-2221 FAX.03-6369-2220
東日本第2営業部	TEL.03-6369-2222 FAX.03-6369-2230
ラップホン事業部	TEL.03-6369-2223 FAX.03-6369-2228
大阪支店	〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目5-16 本町スクエアビルII
営業部	TEL.06-6260-1122 FAX.06-6260-1123
東北支店	〒989-1503 宮城県柴田郡川崎町川内北川原山228-5
	TEL.0224-85-2331 FAX.0224-84-2333
名古屋支店	〒496-0026 愛知県津島市唐臼町ニツ池60番地
	TEL.0567-33-0077 FAX.0567-33-0078
広島支店	〒731-0223 広島県広島市安佐北区可部南5丁目6番1号
	TEL.082-819-1877 FAX.082-819-1878
四国支店	〒761-8031 香川県高松市郷東町577番地5
	TEL.087-832-8181 FAX.087-832-8180
九州支店	〒811-2104 福岡県糟屋郡宇美町井野316番地585
	TEL.092-957-6812 FAX.092-957-6813
札幌営業所	〒001-0915 札幌市北区新琴似町574-2
	TEL.011-769-7631 FAX.011-769-7630
静岡営業所	〒421-0303 静岡県榛原郡吉田町片岡8番2
	TEL.0548-32-6661 FAX.0548-32-3456

■ 取扱い店



◆ カタログ掲載商品について
このカタログの掲載内容は、2022年10月1日現在のものです。製品改良のため、仕様及び外観の一部を予告なく変更する場合があります。



日本セイフティー株式会社

折板屋根工事での安全・安心作業を確保

折板屋根用親綱支柱

ショッピングセンター、倉庫など大空間建築物に多く採用されるハゼ締めタイプの金属製長尺折板屋根、その屋根の軒先、ケラバ、開口部へ親綱支柱を設置し、墜落・転落を防ぐことができます。

特長

安全・安心作業

ハゼのある折板屋根での安全帯取付け設備として性能・強度を持ち、屋根での作業を安全に行なえます。

コンパクト収納

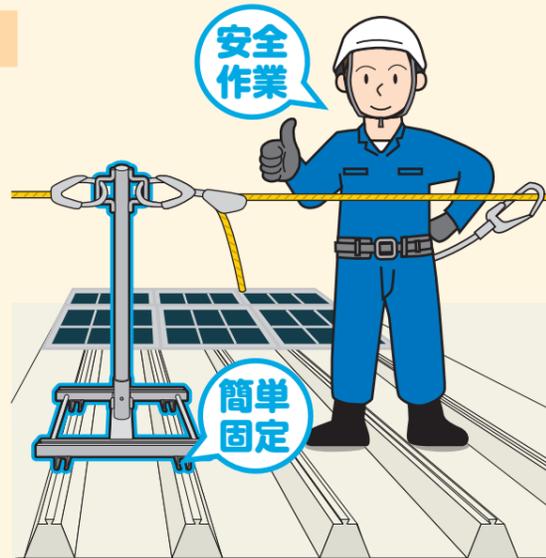
支柱と支柱ベースが分割しているため、スムーズに搬入、省スペースで収納出来ます。

屋根面の負荷が少ない

ハゼ金具で挟み込んで固定するため、屋根面への負荷が少なく、取付けは、インパクトレンチで簡単に固定出来ます。

防護工用支柱

支柱に単管パイプ・幅木を取付けることで防護工用支柱となります。



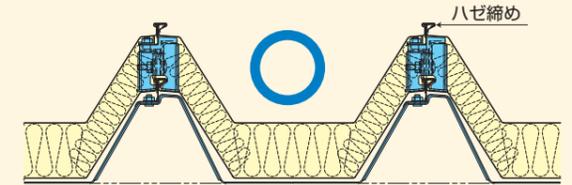
設置条件

折板本体の接合部分に「馳（ハゼ）」と呼ばれる加工を施したタイプです。角ハゼ・丸ハゼ共、設置可能です。

■ ハゼ締めタイプ（設置できる）



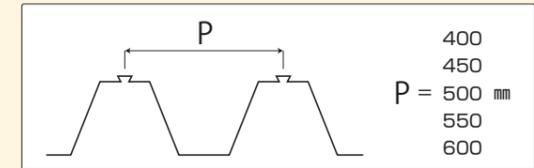
■ ハゼ締め2重葺きタイプ（設置できる）



設置できるハゼ締めの種類



使用できるハゼ間ピッチ



1. 馳（ハゼ）締めタイプ

- 働き幅 400mm、450mm、500mm、550mm、600mm
- 板厚 0.6mm ~ 1.2mm

2. 当製品を設置する金属折板屋根材の強度については、当社責任の範囲外となります。強度確認の上、ご使用下さい。

※参考値—ハゼ金具1か所当たり引張許容荷重250kg

1. 親綱システムの使用基準

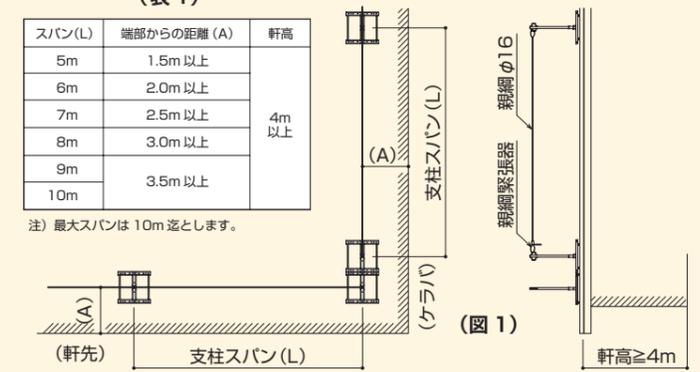
屋根材の先端部（切断箇所）が鋭利な為、万が一落下した場合、親綱が切れる危険性がある為、親綱が先端部に接触出来ない距離（A）を設定しています。

支柱の取付スパン（L）と軒先及びケラバの各々の端部から距離（A）を（表1）に示します。

（表1）

スパン(L)	端部からの距離 (A)	軒高
5m	1.5m 以上	4m 以上
6m	2.0m 以上	
7m	2.5m 以上	
8m	3.0m 以上	
9m	3.5m 以上	
10m		

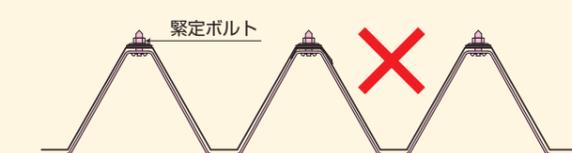
注) 最大スパンは 10m 迄とします。



■ 嵌合（かんごう）タイプ（設置できない）



■ 重ねタイプ（設置できない）



設置手順（解体は逆の手順でお願いします。）



①支柱ベースを仮置きして下さい。その時にハゼ金具のナットをインパクトレンチで緩めておいて下さい。

②設置箇所は、親綱システム用支柱の使用基準（右ページ表1及び図1）に従って計測し位置決めをして下さい。

③ハゼ金具の口を広げて、ハゼ部に咬ませるようにして下さい。（ハゼ金具4ヶ所）

④ハゼ金具のナットをインパクトレンチで締め込み固定して下さい。（ハゼ金具4ヶ所）



⑤支柱を支柱ベースの中央ソケット部に差し込んで下さい。

⑥支柱ベースソケット部と支柱の穴にトグルピンを貫通させて固定して下さい。

⑦親綱のフックを支柱の取付ベースに掛けて下さい。

⑧親綱を取付け、緊張器を用いて、概ね水平になるように緊張して完成です。

寸法図

単位(mm)

